

石油製品の価格動向について

平成18年3月16日
県民文化グループ

1 石油製品の価格動向調査の結果について

県内の石油製品4品目について、3月15日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

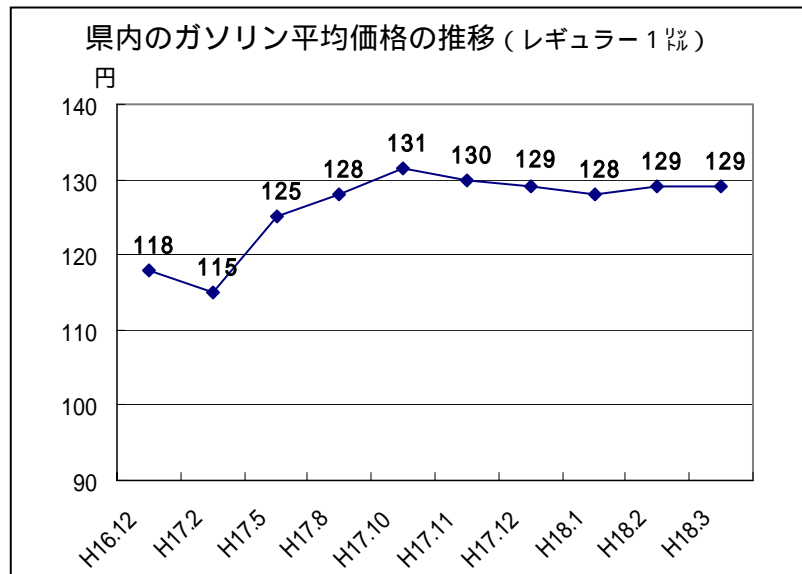
品目名	規格・容量	店舗形態	2月調査の 平均価格	3月調査の 平均価格	対2月比
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	129	129	100.0%
		セルフ	125	127	101.6%
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	107	107	100.0%
		セルフ	103	104	101.0%
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,414	1,348	95.3%
		セルフ	1,353	1,324	97.9%
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,517	1,472	97.0%
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	6,492	6,611	101.8%

2月の調査結果と比較すると、シーズン終了間近である灯油については、店頭価格と配達価格のどちらも下落となった。ガソリン、軽油については、一般店舗で横ばい、セルフではやや上昇となったが、主要元売会社の仕切価格が3ヶ月連続で引き上げとなったことから引き続き予断を許さない状況である。LPガスは上昇しており、日本にとって最大の供給国であるサウジアラビアの国営石油会社の船積み価格(プロパン)が、依然として高水準で推移していることなどから、引き続き予断を許さない状況である。

2 県内の石油製品価格の推移について

(1) ガソリン価格について

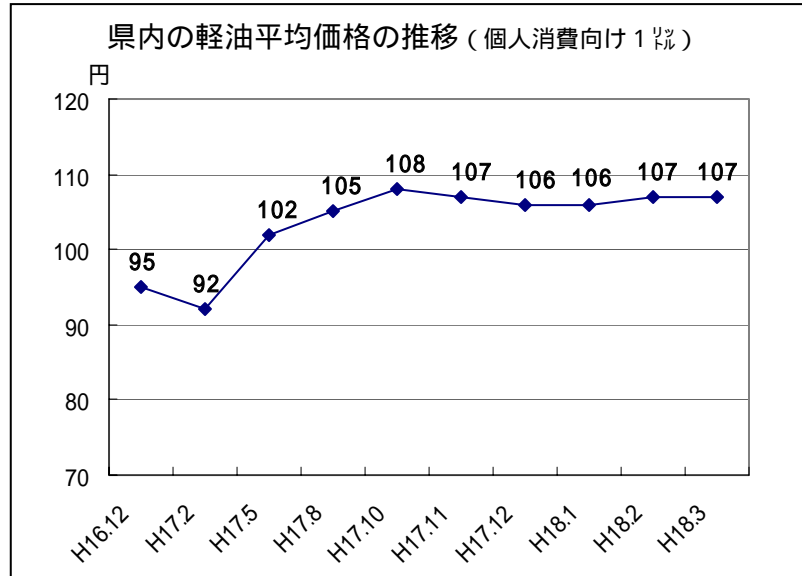
一般店舗価格



昨年11月から3ヶ月連続して下落していたが、2月はやや上昇に転じ129円となり、3月は横ばいの129円となった。主要元売会社が3月の仕切価格を引き上げたことから、引き続き予断を許さない状況である。

(2) 軽油価格について

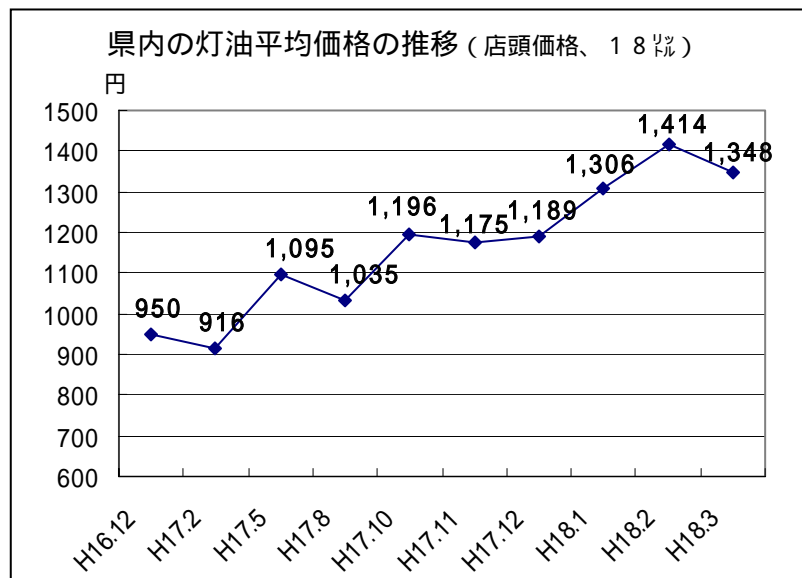
一般店舗価格



1月は前月から横ばいであったが、2月はやや上昇に転じて107円となり、3月は横ばいの107円となった。主要元売会社が3月の仕切価格を引き上げたことから、引き続き予断を許さない状況である。

(3) 灯油価格について

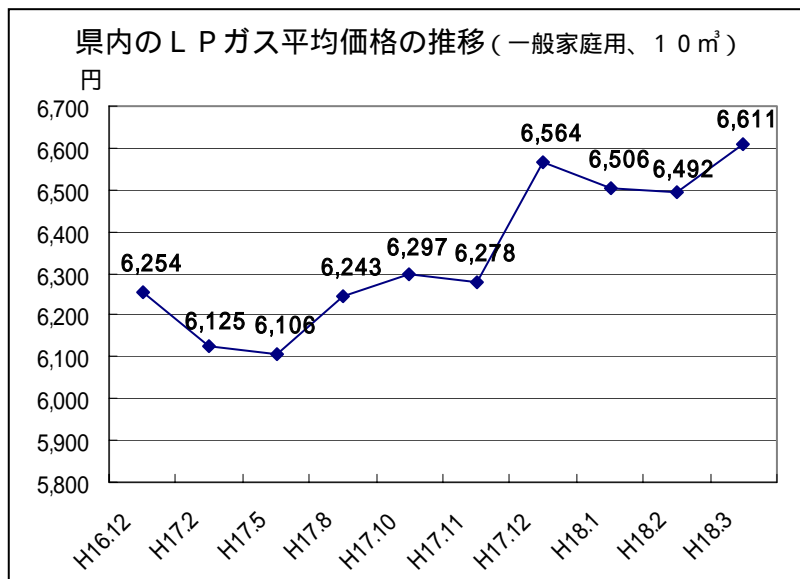
一般店舗価格



昨年12月から3ヶ月連続して上昇が続いていたが、シーズン終了間近であることから3月は下落し1,348円となった。

(4) LPガス価格について

一般店舗価格



昨年12月に上昇した後、高水準での推移が続いており、3月には前月から上昇し6,611円となった。日本にとって最大のLPガス供給国であるサウジアラビアの国営石油会社の船積み価格(プロパン)が、依然として高水準で推移していることなどから、引き続き予断を許さない状況である。